

平成22年度 決算報告書

国立大学法人 小樽商科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,463	1,463	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	0	21	21	(注1)
国立大学財務・経営以外-施設費交付金	16	17	1	(注2)
自己収入	1,340	1,350	10	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,321	1,317	△4	(注3)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	18	32	14	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	66	89	22	(注5)
引当金取崩額	0	2	2	(注6)
長期借入金収入	218	98	△120	(注7)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	175	175	(注8)
計	3,104	3,217	112	
支出				
業務費	2,240	2,451	210	
教育研究経費	2,240	2,451	210	(注9)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	562	611	48	(注10)
施設整備費	234	17	△217	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	0	21	21	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	66	99	32	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営以外-施設費納付金	0	0	0	
計	3,104	3,200	95	
収入－支出	0	17	17	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった補助金（大学改革等推進補助金）の獲得に努めたため、21百万円多額となっております。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階で予定した額より多く措置されたことにより、予算額に比して、決算額が1百万円多額となっております。
- (注3) 授業料及び入学金及び検定料収入については、主に授業料において、休学者数の増加等による収入減により、予算額に比して、決算額が4百万円少額となっております。
- (注4) 雑収入については、主として科学研究費補助金間接経費、財務収益の増収に努めたため、予算額に比して、決算額が14百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して、決算額が22百万円多額となっております。
- (注6) 引当金取崩額については、引当金による賞与の支払いに伴い、経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して、決算額が2百万円多額となっております。
- (注7) 長期借入金については、当初予定していた事業（学生寮の新営）が予定より安価に実施出来たことにより、予算額に比して、決算額が120百万円少額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算編成後に目的積立金の承認があったことから、施設関連事業（学生寮の新営、擁壁の改修）を行い、予算額に比して、決算額が175百万円多額となっております。
- (注9) 業務費については、主として目的積立金取り崩しによる学生寮の新営工事により、予算額に比して、決算額が210百万円多額となっております。
- (注10) 一般管理費については、主として目的積立金取り崩しにより、老朽した擁壁を改修したことにより、予算額に比して、決算額が48百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費については、学生寮の新営工事を、民間からの借り入れ金により実施したことにより、予算額に比して、決算額が217百万円少額となっております。
- (注12) (注1)に示した理由により、予算額に比して、決算額が21百万円多額となっております。
- (注13) (注5)に示した理由により、予算額に比して、決算額が32百万円多額となっております。